

みずほCustomer Desk Report 2020/02/25 号(As of 2020/02/24)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	-
TKY 9:00AM	111.56	1.0838	120.93	1.2952	0.6606
SYD-NY High	111.68	1.0872	121.06	1.2955	0.6619
SYD-NY Low	110.33	1.0805	119.91	1.2887	0.6585
NY 5:00 PM	110.72	1.0854	120.16	1.2927	0.6604
NY DOW	27,960.80	▲ 1,031.61	日本2年債	-0.181	▲ 1.05bp
NASDAQ	9,221.28	▲ 355.31	日本10年債	-0.090	▲ 2.95bp
S&P	3,225.89	▲ 111.86	米国2年債	1.2486	▲ 10.47bp
日経平均	-	-	米国5年債	1.2056	▲ 11.61bp
TOPIX	-	-	米国10年債	1.3697	▲ 10.25bp
シカゴ日経先物	22,175.00	▲ 1,020.00	独10年債	-0.4815	▲ 5.05bp
ロンドンFT	7,156.83	▲ 247.09	英10年債	0.5365	▲ 3.45bp
DAX	13,035.24	▲ 544.09	豪10年債	0.9090	▲ 4.30bp
ハンセン指数	26,820.88	▲ 487.93	USDJPY 1M Vol	6.84	0.86%
上海総合	3,031.23	▲ 8.44	USDJPY 3M Vol	6.29	0.58%
NY金	1,676.60	27.80	USDJPY 6M Vol	6.20	0.43%
WTI	51.43	▲ 1.95	USDJPY 1M 25RR	-1.25	Yen Call Over
CRB指数	170.57	▲ 4.08	EURJPY 3M Vol	7.00	0.70%
ドルインデックス	99.36	0.10	EURJPY 6M Vol	6.85	0.50%

東京	アジア時間のドル円は111.56レベルでオープン。東京休日の中、値幅24銭と限定的な値動きとなった。新型コロナウイルスの感染症例数が韓国で750件を突破する等、世界的な感染拡大が懸念される中、一時111.44まで下落。その後、中国が武漢の移動規制緩和する等緊急対応レベルを最高水準から引き下げるとの報道が出るも、ドル円の反応は限定的。結局111.57レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、111.57レベルでオープン。韓国やイタリア、さらにイランを中心とした中東地域で感染報告が相次ぎ、新型コロナウイルスの感染者数が中国国外で急増していることへの警戒感からリスク回避の円買いが優勢。ドル円は111.20レベルまで売られ、111.33レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0819レベルでオープン。ドイツのIFO経済研究所が発表した2月の業況指数は96.1(予想:95.3)と、上方改定された1月の96.0から上昇したが、特段の反応はなく、オープンと同水準でNYに渡った。(ロンドン・トルリー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	韓国、イタリア、イランなどで感染者数の急増が報告されたほか、中国では全国人民代表大会の延期が決定され、リスクオフムードが強まる中、海外市場のドル円は111円台半ばでスタートし、リスクオフの円買いに111.20レベルまで下落。売り一巡後、小幅反発し、111.33レベルでNYオープン。朝方は、ダウ先物が900ドル超の下落を見せたほか、米金利も低下幅拡大する中、海外時間から引き継いだ円買いの流れにドル売り圧力が加わり、110円台に下落。午後はダウ平均が1000ドル超安となり、米10年債利回りが過去最低水準に迫る中、安値110.33まで下落。しかし、前回、レジスタンスラインとして認識された110.30近辺がサポートとして認識されたためか、この水準で買い戻しが強まり、110.82まで上昇する。終盤は一時下げ幅が縮小したダウ平均が再び下落に転じ、1000ドル超安で引ける中、ドル円も上値は重く、結局、110.72レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.0830近辺でのレンジ推移が続く。独2月IFO企業景況感指数が予想を上回り上下する場面もあったが、方向感はず、1.0819レベルでNYオープン。朝方は米金利低下を受けて進んだドル売りに高値1.0872まで上昇。ドル売りが一巡すると、小幅反落し、1.0854レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 岡本・松本 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

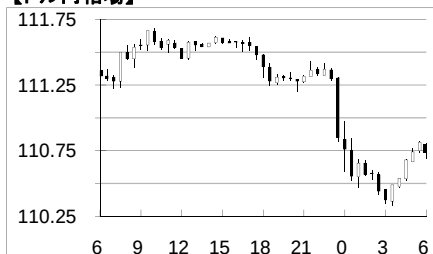
【昨日の指標等】

Date	Time	独	米	Event	結果	予想
2月21日	17:30	独	米	マークイットPMI(製造業/サービス業/コンボジット)	2月 47.8/53.3/51.1	44.8/53.8/50.7
	19:00	欧	米	CPI(前月比/前年比)	1月 -1.0%/1.4%	-1.0%/1.4%
	23:45	米	米	マークイットPMI(製造業/サービス業/コンボジット)	2月 50.8/49.4/49.6	51.5/53.4/-
2月22日	00:00	米	米	中古住宅販売件数	1月 5.46m	5.44m

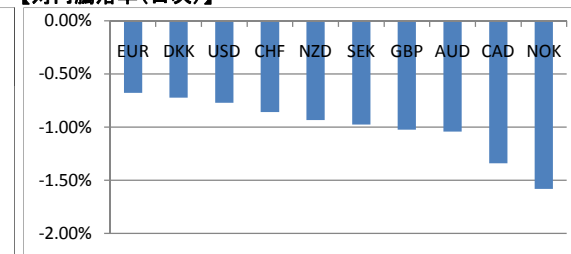
【本日の予定】

Date	Time	独	米	Event	予想	前回
2月25日	16:00	独	米	GDP(前期比)・確報	4Q 0.0%	0.0%
2月26日	05:00	米	米	クラリダFOMC副議長 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 リスクオフの円買いは終わったのか

ここ数日で日本、韓国やイタリアで新型コロナウイルスへの感染者数が急増し、昨日は米株が▲3%超の下落、米債も買われて▲10bp以上の金利低下、VIXも年始1月4日以来となる25近辺まで急伸する荒っぽい値動きとなった。先週から株式市場では景気敏感株が売られディフェンシブセクターが買われる銘柄の選別が進み、またリスクオフ環境下でリターンを求めて債券市場では長期ゾーン中心に買い進まれてカーブがブルフラット化する状況が続いていたことから、新型コロナウイルスを警戒したアロケーションの入替を行って投資家は準備を進めていたと思われる。斯かる中、昨日の為替市場では円は買われたものの、やはり意識されるのは112円台まで急速に円安が進んだ先週の値動きだろう。新型コロナウイルスの震源地は中国を始めとした東アジア諸国と考えれば、株などの資産も含めた「日本売り」が起きていた可能性も否定できず、リーマンショック以降2011年の東日本大震災や2010年代後半の北朝鮮リスクが何度か浮上した時でさえ買われてきた円の立場が変わってきたのかもしれない。もし「リスクオフの円売り」が生じる立ち位置に日本が転じたと仮定すると、景気減速する中でも円安影響により輸入物価が高止まりしやすく輸入インフレを起こしやすい環境に変わるだろう。資源価格は需要減を受けて下落すると思われるため、深刻な物価上昇局面を招くことはないかもしれないが、そのインフレ上昇を受けて日銀の次の一手が(景気減速する中での)金融引き締め政策を取るというシナリオも現実味を増す。これは最近の新興国でも見られるように、「景気が一段と減速→日本売り→円安進行→インフレ再加速→再び利上げ」という負のサイクルに入る可能性もあろう。新型コロナウイルスの影響が収まることを祈るばかりだが、従来とは異なるリスクオフ局面(＝円売り)となるシナリオも頭にしっかりと入れて、BCP含めた継続的なオペレーション方法を今一度再考したいところ。(岡本)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ベア

ブル	ベア
11	9